

2025年

5月5日 (月・祝日)

15:00 ~ 17:30

15:00 ~ 【1部】：木本さんのお話し

16:30 ~ 【2部】：茶話会

【1部】のみの参加も可能です。

【2部】は、現在不登校・行き渋りなどのお子さんの保護者の方と地域の方に分かれてそれぞれグループで交流をします。保護者のグループの進行は木本さんです。



不登校の現在

「子どもの日」に考える

真庭市立中央図書館

3F 会議室

無料 定員 20人

申し込み

電話 (0867) 44-2012

または右記フォームから

お申し込みください。



講師：木本晃子さん

川越不登校親の会代表。

埼玉県川越市在住。3人

の子ども（うち2人が不

登校経験）の親。新☆

川越おやこ劇場代表。NPO 法人ハン

ズオン埼玉副代表理事。X（旧ツイッ

ター）、noteなどで保護者としての思

いを発信している。@FutoukouKawagoe



注：文科省の定義では、不登校児童生徒とは「何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しないあるいはしたくともできない状況にあるために年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いた者」。2023年度で346,482人。なお長期欠席者全体の数は約50万人。小学生の28人に1人。中学生にいたっては12人に1人。

小中学校の「不登校」生徒は、34万人。近年、「激増」しています（注）。子どもたちは、どんな毎日を過ごしているのでしょうか。どうして不登校になるのでしょうか。不登校の背景には、どんな学校や社会の姿があるのでしょうか。一緒に学び、考える時間をもちたいと思います。



文科省調査 2023年度

